

第86回外務省在外公館派遣員の壮行会が行われました

2017.08.02



2017年7月18日(火)、第86回在外公館派遣員試験赴任内定者の壮行会が行われ、試験に合格した在学生・卒業生13名が参加しました。
当日は酒井邦弥学長や久保谷富美男先生(グローバルコミュニケーション研究所)だけでなく、在ニカラグア日本国大使館に赴任中であり、一時帰国をしている鈴木竜矢さんなどが参加しました。合格者がお互いに試験勉強の苦労を労い合い、赴任に向けての意気込みなどを語り合いました。
学長からは記念品としてのペンケースとともに、「自身が専攻した言語の国に貢献することが神田外語で学んだ皆さんのミッションです。お身体に気をつけて赴任した国で頑張ってください」とメッセージがおくられました。

今回の第86回外務省在外公館派遣員に合格した多くの在学生は、久保谷先生が行う『「+α」グローバル教養講座』に参加しており、今回合格した14名をはじめ多くの神田外語大学、姉妹校・神田外語学院の卒業生・在学生が世界中で在外公館派遣員として活躍しています。

「+α」グローバル教養講座の概要

1. 文理の枠を超えたグローバル教養として、出来るだけ多くの分野を統合したものから学ぶ。
2. 自分と異なる多様な文化的背景を持つ人々との出会いの場を自らが設け、様々なことを語り合うことにより、相手の立場に立って物事を見る目を養う。
3. 日本語できちんと筋道を立てて話し・書ける能力を養うと共に、自らがグローバルに発信し、世界の人々にも理解してもらえる説明(プレゼン)力を向上させる。

この講座は全学科・全学年の学生、及び卒業生を対象に年2回(5月・10月)の外務省在外公館派遣員試験に向けて地道な学びを継続しています。

赴任予定者のコメント

天野 真子さん

今までの学生生活で得てきた言語や教養を始めとする様々な学びを最大限に活かせる職業だと確信したため派遣員を志望しました。3年次のカナダ滞在を経て、新たな文化に身を置くことでより広い価値観で物事を捉えられるようになり、人々と関わりながら異なる慣習や思想を理解する面白さを身をもって知りました。派遣員として、異国の地で日本人として働けることに強く魅力を感じております。試験は決して簡単なものではありませんでしたが、久保谷先生や同じ目標を持つ仲間達に支えて頂き、見事合格することができました。業務を通して訪れるあらゆる出会いを一つひとつ大切に、自分らしく成長し続けることが私の目標です。常に感謝の気持ちを忘れず、楽しんで業務に励んで参ります。



大塚 真子さん



英米語学科 4年
在トロント日本国総領事館

私は就職活動をするにあたり、将来の選択肢の1つとして派遣員を目指しました。また知り合いの先輩方が派遣員として活躍している姿を見てとても憧れていました。3年生の後期から約1年間久保谷先生にお世話になり、講座では様々な知識と共に教養を学ばせていただきました。今回初めての受験で、私の実力ではまだ合格できるとは思っていませんでしたが、ご縁があり在トロント総領事館から内定を頂くことができました。私は長期の留学経験がないので、語学や生活面でまだまだ不安なことがたくさんありますが、自分なりに精一杯努力したいと思います。そして2年間という短い期間になりますが、多くの事を学び楽しみたいと思います！

佐久間 紫央さん

英米語学科 4年
在ヨルダン日本国大使館

漠然と海外で働きたいと考えていた私は、就職活動を始める際に行き詰まり、深刻に悩んだ時期がありました。そんな中で久保谷先生の講座を知り2016年の9月から勉強を始めました。ただ試験の対策をするのではなく、自分たちで考え表現し、異なる意見を共有できる、毎週何かを学んで前進するのが、非常に楽しかったです。今回、縁あってヨルダンに行くことになりましたが、壁に直面しても諦めず乗り越え、任期を終える際にはヨルダンが第2のホームになるよう、私らしく頑張りたいと思います。



十倉 悠輔さん



国際ビジネスキャリア専攻 3年
在クウェート日本国大使館

学年が上がり「社会人になるために何かしなければ」とぼんやりとしていた頃に友人から在外公館派遣員を紹介してもらいました。学生のうちに「海外で、公的機関で」働く経験ができると知り、またとないチャンスだと思い受験を決意しました。久保谷先生をはじめ周りの友人からの支援のお陰で自信を持って試験に臨むことができ、二次試験の面接では

りもなかった国・地域ですが、これは久保谷先生がいつもおっしゃっている"Planned Happenstance"が導いてくれた結果なのだと思います。次の2年間で何が起きるかわからず多少の不安もありますが、1つ1つの出来事を受け止め、乗り越え、飛躍を遂げたいと思います。

山下 拓美さん

国際ビジネスキャリア専攻 3年
在パキスタン日本国大使館

私はキャリアデザインという授業を通して久保谷先生と出会い、在外公館派遣員という制度を知りました。入学以前から将来は海外で働きたいという考えがあったので、これだ！と思い派遣員を目指すことを決めました。派遣員の試験は簡単なものではありませんでしたが、久保谷先生をはじめとする周りの方々のサポートのお陰で合格を掴み取る事ができました。赴任後は本官・大使館の職員の方々が無言のうちに仕事をこなすように縁の下で力持ちとして頑張



[HOME](#) > [ニュース](#) > [ニュース詳細](#)

上原 千来さん



国際コミュニケーション専攻3年
在バングラデッシュ日本国大使館

大学入学前から将来は海外で働きたいと考えていました。昨年の9月に在外公館派遣員制度を知り、久保谷先生の方で一般教養や派遣員として大切な人間力を学んできました。留学や海外インターン経験の無い私が在バングラデッシュ大使館に内定を頂くことができたのも、久保谷先生をはじめ同じ道に進む志を持った仲間、応援してくれた友人や両親の支えがあったからこそだと思います。バングラデッシュはアジア最貧国ですが、現地でもしか味わうことのできない経験を楽しみつつ、貴重な場での仕事を精一杯努め、帰国時には人として成長して帰ってきたいと思っています。

小林 咲季さん

英米語学科 2016年卒業
在ウズベキスタン日本国大使館

自分の知らない土地で、一生懸命やり遂げれば何かが変わるかもしれないと感じ、思い切って派遣員試験への挑戦を決めました。なかなかうまくいかずに落ち込む日もありましたが、背中を押してくれた方々のことを思い出しては、頑張ろうという気持ちになれました。お陰様で、ウズベキスタンという大変魅力的な国で働くことになり、感謝の気持ちでいっぱいです。帰国後は、世の中に少しでも良い影響を与えられる人になれるよう、この2年間しっかり学んできます。業務を全うするとともに、ウズベキスタンの良さを存分に味わい、いつか日本でPRできたら嬉しいです。謙虚な姿勢と感謝の気持ちを忘れずに、会う人、見るもの全てを大事にしていけたらと思っています。





姉妹校・神田外語学院
国際エアライン科 2013年卒業
在ニューヨーク日本国総領事館

神田外語学院卒業後、夢を叶えたものの、好きだった英語を使う機会が減り、淡々と仕事をこなしていく毎日の中で、「本当にこのままでいいのか」と考え始めたのが在外公館派遣員試験を受けるきっかけでした。退職後は、自分の人生で"大切なものは何か、譲れないくらいやりたいことは何か"を考えるきっかけとなりました。久保谷先生より「とにかく1回受けてみなさい」と背中を押され、第86回の試験に合格しました。赴任先では採用して良かったと思ってもらえるよう一生懸命頑張りたいです。

小林 翔さん

ブラジル・ポルトガル語専攻 4年
在ホンジュラス日本国大使館

大学入学以来、英語、ポルトガル語、スペイン語の習得が私の目標でした。ブラジル留学から帰国し、二年次から希望していた在外公館派遣員試験を受けようとしたとき、ブラジルの募集がなかったため一時は受験を諦めましたが、スペイン語を習得するという目標達成のためスペイン語で受験することを決めました。試験対策では多くの知識を得ることができ、試験にもとても役立ちました。教養を身に付ける事が出来るだけでなく、様々な事に対して関心を持てる様になるので、全ての学生にお勧めできるかと思います。今回赴任するホンジュラスではスペイン語が話されており、治安が良くないと聞いています。業務や言語、文化の違いや治安など、多くの不安要素はありますが、派遣員としての仕事を全うした後に、ホンジュラスを故郷と言えるように精一杯頑張ります。



早乙女 恵梨さん

ブラジル・ポルトガル語専攻 4年
在アンゴラ日本国大使館



交換留学を終え、将来やりたいことが定まらずに悩んでいた時期に出会ったのがこの在外公館派遣員制度でした。学んできた語学を活かしながらの自己の成長と、キャリアアップができることを考えると、今の自分に最適な仕事だと思いました。4月から久保谷先生の講座の受講を開始し、短期間での学習を経ての受験となりましたが、無事に内定をいただくことができました。久保谷先生の講座は一般教養を学ぶだけでなく、励まし合い、切磋琢磨できる仲間が居り、毎回刺激をもらえるとても大切な空間でした。これから日本人にはあまり馴染みがなく、情報も少ないアンゴラでの勤務となりますが、2年間の経験が全て今後の自信となり糧となると信じて、日々努力していきます。

藤田 裕希さん

英米語学科 4年
在ハイチ日本国大使館

私がこの試験を知ったのは、大学入学前、大学のパンフレットを通してでした。このお仕事に魅力を感じた点は、旅行や一般企業のお仕事からでは得られない視点で日本を見られることです。また、普段訪れることのない途上国で生活できる、貴重な機会だとも思いました。

フランスでの留学生活後、久保谷先生にご指導頂いたり、先輩派遣員の方々から多くのアドバイスを頂いたりもしました。結果ご縁があってハイチ大に内定を頂きました。厳しい生活環境であるからこそ、多くの発見と学びがある機会だと思います。今回、これだけ多くの合格者が出たことは、歴代合格し、派遣員として活躍されている先輩達のお陰だと思います。ここからがスタートですし、次世代に繋がるよう、実りある2年間にしたいと思います。



永野 陽美さん



中国語専攻 2年
在中華人民共和国日本国大使館

私は入学する前からこの制度を知っていて、神田外語には試験対策の講座が行われているという理由もあり入学しました。そして将来は外交関係の職場に勤め、日中友好、日中関係改善に向けて前向きな対策を提案していきたいと考えています。そのために大学生の内に在外公館派遣員を体験することは、これからのキャリアにおいても、とてもいい経験になると思っています。1年生から講座に参加していましたが、2年生になり集中して取り組み、今回ご縁があり在中国日本大使館に内定をいただき大変嬉しく思っています。反面、自分に務まるのかと不安もありますが、戴いた機会に感謝し精一杯頑張りたいと思っています。

他の合格者

奥村 美樹さん (国際コミュニケーション専攻4年)
在エチオピア日本国大使館

佐藤 櫻さん (中国語専攻2015年卒業)
在瀋陽日本国総領事館